

地域運営組織の取組について①

地域を取り巻く環境が大きく変化する中で、少子高齢化や人口減少の急速な進行により、様々な地域活動が難しくなってくるのが予想されます。**誰もが住み慣れた地域で暮らし続けていくためにも、今のうちから持続可能な地域づくりの仕組みを皆で考えていくことが大切です。**

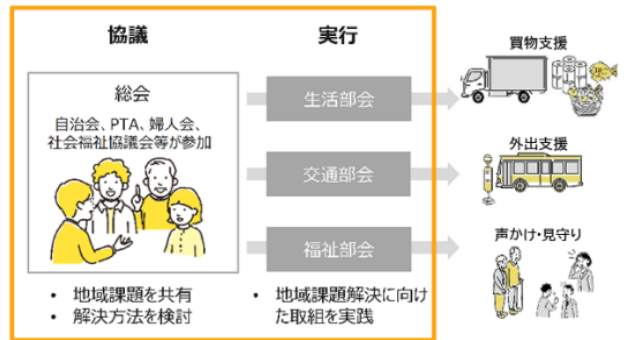
■ 地域運営組織とは？

- ① 「**地域づくりの仕組み**」です。
- ② 色々な地域団体や住民のみなさんと話し合います。
- ③ みんなで「**地域づくり計画**」を作って活動します。
- ④ それぞれが役割分担をしながら、持続可能な形で取り組みます。

地域運営組織は、地域で暮らす人々を中心となって、地域内の様々な関係団体や人々との話し合いのもと、地域課題解決に向けた取組を持続的に実践する「**地域づくりの仕組み**」です。地域の現状や課題をみんなで共有し、めざす地域の将来像とそれに向けた取組を「**地域づくり計画**」に描き、各種活動を実践します。全国的に広がっている取組であり、令和4年9月時点で7,234団体、山口県内では106団体の地域運営組織が活動しています。

【地域運営組織のイメージ（一例）】

〇〇地域づくり協議会（＝**地域運営組織**）



出典：総務省HP > 地域運営組織
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/chiki_unneisosiki.html



■ 地域運営組織の取組に期待されること

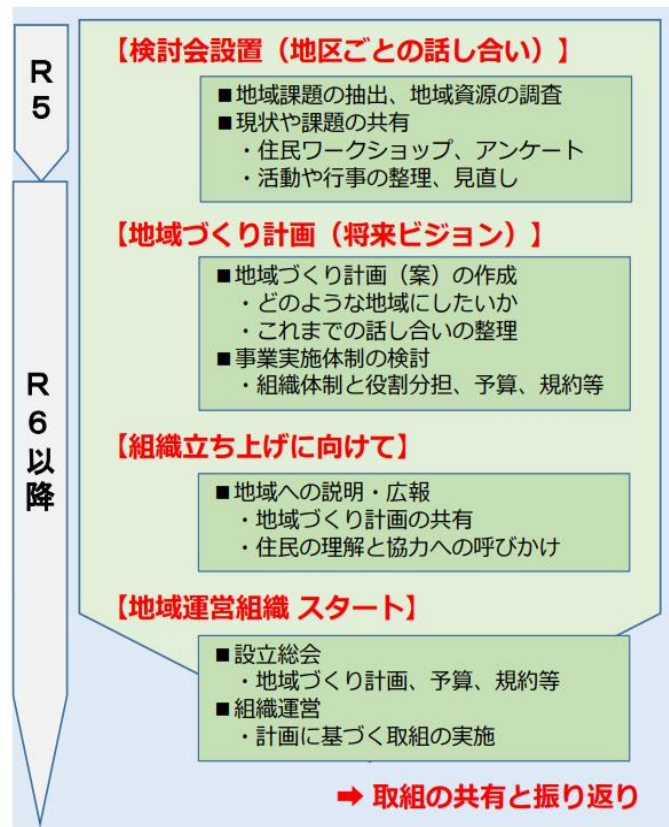
- ① 地区内の各種団体の**ネットワーク化、相互補完**
→ 個々の活動を充実させ、地域活動の持続性を高めます。
- ② **住民主体**の課題解決に向けた取組
→ 地域でできることは地域で取り組むことで、課題に柔軟に対応できます。
- ③ 効率的な**役割分担**
→ 役割分担を明確にし、一人ひとりの負担を減らすことができます。
- ④ 企業や行政等との**連携・協働**
→ 地域だけでは解決できない課題に取り組むことができます。

山陽小野田市では、

- ➔ **令和6年度中に市内11地区で地域運営組織の立ち上げを目標として取り組んでいます。**
- ➔ **現在、各地区において検討会が設置され、地域の皆さんによる話し合いが始まっています。**

地域運営組織の取組について②

■ 今後のスケジュールのめやす



（1）**新たな地域づくり**
 持続可能な地域づくりの実現に向け、地域運営組織（RMO）の形成を推進するとともに、市民活動支援センターの体制を強化するなど、多様な人々が繋がり、支え合う仕組みづくりに取り組みます。

【参考】地域運営組織に対する行政の支援

- ◆ **地域づくり交付金（仮）の交付**
 これまでの市から地域に対して交付されている補助金を可能な範囲で一本化し、**地域運営組織を形成した地域に対して一括交付**することで、地域自らの裁量で各事業への配分や用途の決定ができるような仕組みづくりを進めています。
- ◆ **地域づくり支援員の設置**
 各地域交流センターに地域づくり支援員を設置し、**組織の形成に向けた話し合いや、形成後の事務局機能などを支援**します。